

令和8年8月

保護者・地域の皆様

長柄町立長柄小学校

令和8年度 第1回学校評価アンケート（7月実施）の結果報告

このことについて、次のとおり結果をまとめましたので、保護者及び地域の皆様に対して、次のとおり御報告いたします。

【1回目アンケート回収率】 ※回答は、全て無記名調査

- ・児童数 90名 回収数90名 100%
- ・家庭数 64家庭 回収数48家庭 75%
- ・職員数 12名 回収数12名 100%

【教育課程・学習指導について】 ※表の（ ）は、昨年度アンケートとの比較ポイント

保護者 肯定回答	教職員 肯定回答
お子さんは、「自ら学び、よく考える子」に育っていると思われますか。 79%（-4）	あなたは、児童を「自ら学び、よく考える子」に育てていますか。 100%（±0）
学校は、わかる授業づくりに努めていると思われますか。 92%（-4）	あなたは、わかる授業づくりに努めていますか。 100%（±0）
お子さんは、「健康で主体的に運動に取り組む子」に育っていると思われますか。 92%（+3）	あなたは、児童を「健康で主体的に運動に取り組む子」に育てていますか。 92%（-8）

児童 肯定回答	
自分で進んで勉強や宿題ができましたか。	89%（-3）
自分でよく考え、勉強や生活ができましたか。	94%（+1）
毎日、家庭学習に取り組みましたか。	78%（+4）
体育では、進んで運動ができましたか。	94%（-3）
休み時間や放課後に、たくさん運動ができましたか。	91%（+3）

【教育課程・学習指導の成果と課題】

1 成果

○「わかる授業」に向けた授業改善の定着

- ・「学校は、わかる授業づくりに努めているか」において、保護者の92%から肯定的評価を得ることができました。日頃の教材研究やICTを活用した視覚的・体験的な授業づくりなど、教員の意欲的な授業改善の取り組みが保護者にも十分定着し、高く評価されていると考えています。

○健康づくりと運動への主体的な取り組みに対する理解と評価の向上

- ・「健康で主体的に運動に取り組む子に育っているか」では、保護者の肯定的評価が92%となり、着実な向上が見られました。体育の充実や休み時間の体力づくりなど、日常的な保健体育活動の成果が表れていると考えています。

2 課題と今後の方向性

○児童の「自ら学び・考える力」の質的向上

- ・児童は「進んで勉強や宿題ができた(89%)」、「自分でよく考え、勉強や生活ができた(94%)」と回答し、教職員も「自ら学び、よく考える子に育てている(100%)」と肯定的評価をしています。しかし、保護者の肯定的評価は、79%に留まり、意識の差が見られます。
- ・保護者に「児童が自ら学んでいる」と実感していただけるよう「教わる・理解する(わかる)」段階から一歩進め、児童が自ら疑問をもち、問いを立てて探求する「主体的・対話的で深い学び」の質的向上を図ります。具体的には、授業内での対話的活動や振り返りの時間の確保など、「わかったことを活用して自分で考える場面」を意識的に設定した授業づくりを目指していきます。

【生徒指導・学校の安全性について】 ※表の()は、昨年度アンケートとの比較ポイント

保護者 肯定回答	教職員 肯定回答
お子さんは、「明るく心豊かな子」に育っていると思われますか。 100% (+2)	あなたは、児童を「明るく心豊かな子」に育てていますか。 100% (±0)
お子さんは、「あいさつのできる子」に育っていると思われますか。 83% (±0)	あなたは、児童を「あいさつのできる子」に育てていますか。 100% (+9)
お子さんは、毎日楽しく登校していると思われますか。 94% (+5)	あなたは、児童が「毎日楽しく登校できる環境」を整えていますか。 92% (-8)

学校は、子どものことについて、気軽に相談できると思われますか。 88% (−12)	あなたは、児童の悩みに気軽に相談できる準備を整えていますか。 100% (±0)
学校は、いじめのない学級づくりに努めていると思われますか。 90% (+3)	あなたは、いじめのない学級・学校づくりに努めていますか。 100% (±0)
学校は、安全な教育環境が整っていると思われますか。 96% (+7)	あなたは、自分の管理分担を安全な教育環境に整えていますか。 100% (±0)
児童 肯定回答	
友達に優しくできましたか。	98% (+2)
挨拶はできましたか。 先生方に94% (+2) 地域の人に88% (+5) 家族に93% (+5)	
あなたは、毎日楽しく学校に登校できましたか。	84% (−5)
先生方は、あなたが困っている時に相談にのってくれましたか。	99% (+1)
友達をいじめたり悪口を言ったりしないで、仲良く過ごせましたか。	94% (+4)

【生徒指導・学校の安全性の成果と課題】

1 成果

○「豊かな心」の育成と安全な環境づくり

- ・「明るく心豊かな子に育っているか（保護者100%・教職員100%）」をはじめ、「いじめのない学級づくり（保護者90%・教職員100%）」や「安全な教育環境（保護者96%・教職員100%）」において、高い評価を得ることができました。
- ・児童についても「先生は、あなたが困っている時に相談にのってくれた（99%）」、「友達に優しくできた（98%）」と実感しており、教職員が日々児童一人一人に寄り添い、安心感のある学級経営に努めてきた成果であると考えます。

○挨拶習慣の定着と地域・家庭への広がり

- ・「児童をあいさつのできる子に育てているか」において、教職員の肯定的評価が100%（昨年度比+9）と向上しました。また、児童についても、学校のみならず、地域の人（88%）に、家族（93%）に「あいさつをしている」と回答し、学校外でも自主的な挨拶ができるようになってきている様子が見られます。教職員の継続的な声かけと指導の実効性が表れてきていると考えます。

2 課題と今後の方向性

○組織的な相談体制の可視化

- ・「学校は、子どものことについて気軽に相談できる」と回答した保護者の割合が、昨年度より12ポイント減少し、88%となりました。これは、相談窓口の周知不足が考えられます。保護者が気兼ねなく相談できる環境を各種たよりやメール等で周知してまいります。

【情報発信について】 ※表の（ ）は、昨年度アンケートとの比較ポイント

保護者 肯定回答	教職員 肯定回答
学校（学級）の教育方針や子どもの様子は、学校・学級だよりや参観日等で伝わっていますか。 96%（-2）	あなたは、保護者や地域に授業や学校行事等の様子を学校・学級だより、学校 HP 等で伝えていますか。 100%（±0）

【情報発信の成果】※保護者からの肯定的評価が95%以上のため、成果のみ記載

○教職員の積極的な発信による学校・学級経営方針の浸透

- ・情報発信については、保護者の96%から肯定的評価を得ることができました。教職員一人一人が、学校・学級・通級だよりの定期的な発行に努め、また掲載内容についても、日頃の取り組みや児童の学校での様子が『見える』ように掲載方法を工夫しています。今後も引き続き、保護者や地域の皆様に、学校の取り組みが『見える・わかる』ように情報発信をしていきます。

【学校運営（学校に望むこと・期待すること）について】 ※回答が多かった順に3つ（前回順位）

上位	保護者回答	上位	教職員回答
1	心の教育や人権教育の充実(2位)	1	心の教育や人権教育の充実(1位)
2	学力向上の推進(3位)	2	学力向上の推進(2位)
3	社会のルールやきまりを守る指導(1位)		社会のルールやきまりを守る指導(3位)

【学校運営（学校に望むこと・期待すること）の成果と課題】

1 成果

○保護者と教職員における「めざす教育像」の一致

- ・上表のとおり、保護者・教職員ともに、課題として捉えていることは同じであることがわかります。教職員が日頃から大切にしている教育の重点と保護者が学校に求める期待が一致しており、学校経営の根幹となる方向性について共通理解が構築されていることが確認できました。

2 課題

○「めざす教育像」3重点項目（心・学力・規律）の一体的な推進と実効性の向上

- ・保護者と教職員のめざす教育像が一致しているからこそ、これら3つの重点領域において、より一層実効性の高い取り組みを全校体制で推進していくことが求められます。
- ・「心の教育・人権教育」をすべての教育活動の基盤とし、思いやりや多様性を認める心を育むとともに、「学力向上」においては、授業改善や一人一人に応じた指導を徹底します。
- ・さらに、「ルールや規範意識の指導」についても、学校と家庭、地域が連携して基本的な生活習慣やマナーの定着を図るなど、チーム一丸となって児童の育成に努めていきます。

【自由記述欄】 ※保護者からの要望を一部抜粋

<要望>

- ・雨天時の送迎の際、駐車場が狭い上に混雑しているので、スムーズにいく方向はないのでしょうか。

<回答>

- ・ご意見ありがとうございます。

本校は、敷地が狭く、安全な乗降スペースや車両動線を確保することが非常に難しい状況です。御迷惑をおかけして申し訳ありませんが、学校としては、特別な事情がある場合を除き、徒歩での登下校に御理解と御協力をお願いしたいと考えております。

以上